

みちぶしん “道普請”

土木
未来

自分達の道は自分達で守る！（協働による環境整備）

安全・快適な道路環境を整備するため、地域住民が主体となり、「下恵良九重線」の支障木伐採作業が行われました。

当地区では、平成21年度にも同様の作業が行われており、地域住民と行政が一体となった取組みが評価され、今回の作業へと繋がっております。

また、玖珠土木管内では、本路線以外に「菅原戸畑線」や「玖珠山国線」でも同様の取組みが地域に根付き、継続して行われています。

実施日：平成27年6月2日（火） 9:00～16:00
実施場所：県道下恵良九重線 九重町大字松木
 （松木三差路～竜門トンネル）

下恵良九重線は沿線に竜門の滝を有しており、地域住民の日常生活から県内外の観光客の往来に至るまで様々な交通需要に供されています。

しかし、降雨や冬期の積雪により、沿線の立竹木が通行車両にあたるため、度々道路利用に支障をきたしています。

今回、松木地区住民から「地区の道路なので、自分達で出来ることは率先して取組みたい」と提案があり、樹木所有者との調整と伐採を地域住民、交通誘導と伐採手伝いを土木事務所の役割分担で実施しました。

作業状況



土木事務所は
交通誘導や伐採のお手伝い



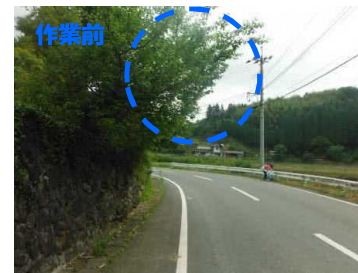
【作業前ミーティング】
朝早くからチェーンソー持参で集合。
高齢の方が多いですが皆さん現役で準備万端です。



支障木の伐採作業以外にもゴミ拾い、草刈り、路肩清掃など、地域の美化活動も積極的に行いました。



作業後の状況



支障木が無くなり、快適な道路空間が確保されました

皆さん、お疲れ様でした！
“道普請”を引き続きお願いします！